

国立研究開発法人情報通信研究機構
令和3年度第2回契約監視委員会議事概要

1. 日時

令和3年11月30日（火）13:00~15:00

2. 場所

WebExによるオンライン開催

3. 出席者（委員（敬称略、五十音順））

加藤 暢一 （加藤公認会計士事務所）
佐藤 健治 （情報通信研究機構 監事）
手塚 悟 （慶應義塾大学・環境情報学部 教授）
土井 美和子 （情報通信研究機構 監事）
名越 秀夫 （インテックス法律特許事務所 弁護士・弁理士）
松田 修一 （委員長・早稲田大学 名誉教授）

4. 開会

情報通信研究機構井上理事より挨拶があった。

5. 議事

- (1)「令和3年度上半期の実績について」
- (2)「令和3年度国立研究開発法人情報通信研究機構 調達等合理化計画に基づく取組みについて」

6. 議事概要

- (1)「令和3年度上半期の実績について」について

情報通信研究機構（以下「機構」という。）からの説明に基づき、以下の項目について、その内容を点検及び確認した。

1. 令和3年度の契約実績（契約実績の傾向、競争性のない随意契約に関する調達、一者応札・応募の状況等）
2. 令和3年度調達等合理化計画に基づく取組結果

なお、機構から、2ヵ年連続一者応札・応募に関する点検について、5000万円未満の案件を委員の指定で選定する方法により次回委員会で点検いただきたい旨提案し、了承された。

○ 委員からは、以下の意見、質問等があった。（ ）は機構側回答。

・提案のあった、2カ年連続一者応札・応募となった案件の選定について、案件概要が抽象的だと選定が難しいため、やや詳しく書いて欲しい。

(そのように対応したい。)

(2)「令和3年度国立研究開発法人情報通信研究機構 調達等合理化計画(案)」について
機構からの説明に基づき、その内容について点検及び確認した。

○ 委員からは、以下の意見、質問等があった。()は機構側回答。

・メール配信にて案内をした登録事業者のうち、具体的に応募・入札された方の状況というのは、自動的に集計できないか。

(現在の入札システムではできないが、今後、財務部においてIT関係の導入、活用しながらExcel上で整理している部分から抽出して、分析できればと考えている。)

以 上